

参考地図Ⅱ 地勢図

Introductory Map Ⅱ Topographical map

全国に2400個の橙色の小さな点が散在する。これが、日本語地図のための調査地点である。各地点の地名その他については、第1集の付録「日本語地図 解説—方法—」を参照されたい。各調査地点の番号は、第1集所載の「参考地図Ⅰ 調査地点番号地図」によって明らかになる。

この地図では、各調査地点の自然条件の概要を知るために、山系と水系とを示した。山系は、その稜線の概略を、茶色の直線によって示した。1500メートル以上の稜線は、特に太く示した。水系は、比較的大きな川と支流とを空色で示した。流域に調査地点の多い川については、特にその名を示した。